

週間漁海況情報 2023年第15号

令和5年4月11日発行

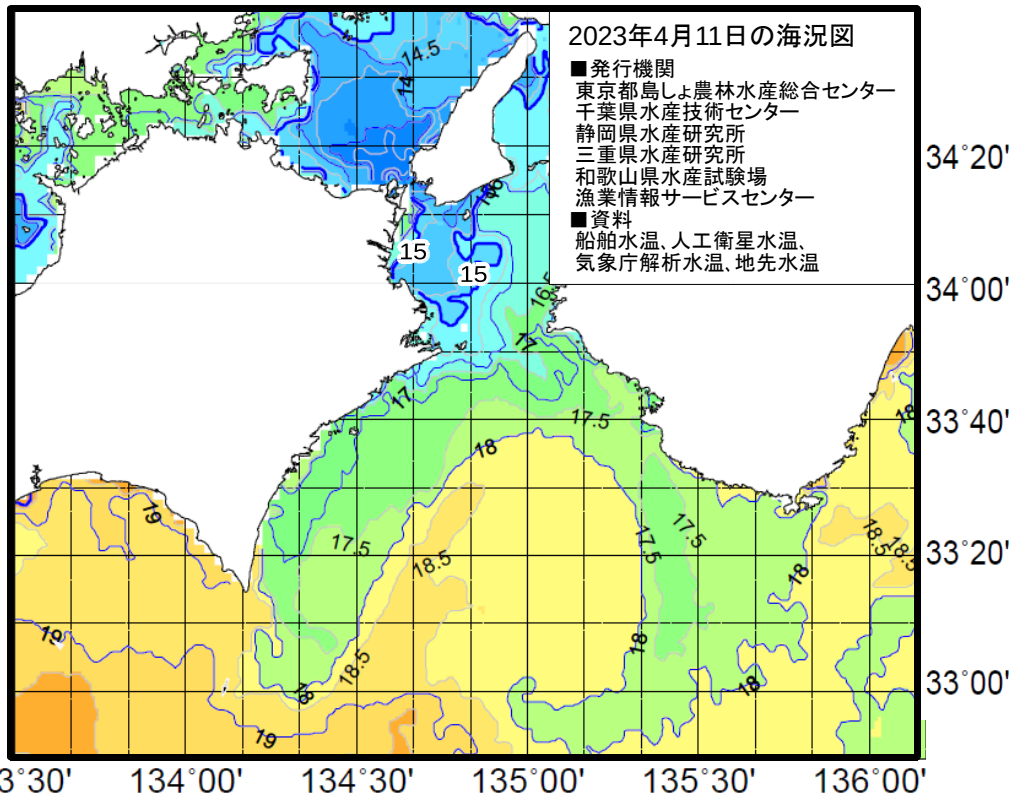
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖96マイル、潮岬沖95マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」している。黒潮は大蛇行で東へ流れる本流とは別に分枝流が紀伊半島沖で南下し、時計回りの流れを形成して、そこからの暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が13～14℃台、紀伊水道が14～15℃台、海部沿岸が15～16℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

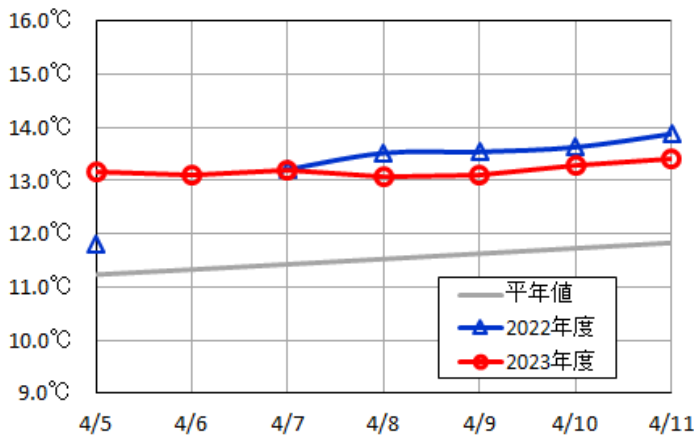
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

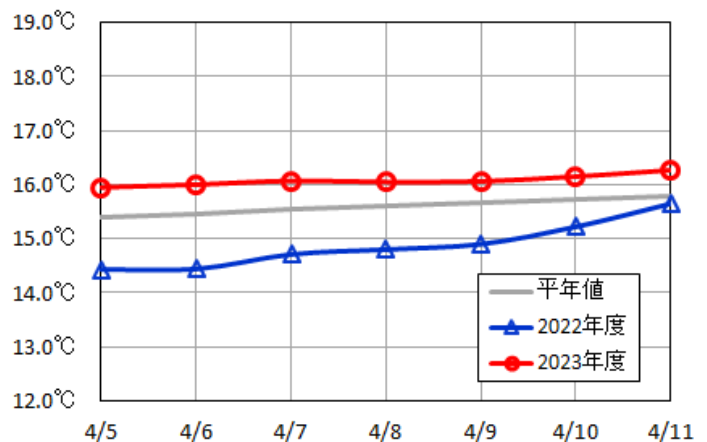
2. 地先水温(4月5日～4月11日)

鳴門地区の水温は、13.0～13.4℃で「高め」、日和佐地区は15.9～16.2℃で「ややたかめ」から「平年並み」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は2.7～2.9℃で、先週より若干狭まった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年の平滑平均値

3. 週間予報(4月12日～4月18日)

黒潮は、室戸岬は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」、日和佐地区で「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (4月3日～4月9日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

延縄では、ハモが大きく増えて1.2ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.7ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に1.1ト、イサキが増えて大主体に0.9ト、ボラが増えて大主体に0.3ト、マダイが0.3ト、ヒラメが減って0.2ト、イシダイが増えて0.2ト、すずき類が特大主体に0.2ト水揚げされた。
 底びき網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.8ト、クロダイが増えて0.5ト、マダイが増えて0.3ト、いとより類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、カタクチイワシが1.3ト、いわし類主体が1ト、さば類が増えて0.3ト、さば類主体が大きく減って0.3ト水揚げされた。
 大型定置網では、ブリが12ト、マアジが大きく減って1.2ト、イシダイが増えて0.9ト、クロダイが大きく増えて0.6ト、カワハギが大きく増えて中主体に0.3ト、マダイが増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	14	ハモ	1,170	84		↗↗
		31	ブリ	687	22	めじろ級主体	↘
	小型定置網	13	ブリ	1,077	83	めじろ級主体	↘↘
		4	イサキ	866	216	大主体	↗
		7	ボラ	339	48	大主体	↗
		13	マダイ	329	25		→
		13	ヒラメ	248	19		↘
		10	イシダイ	248	25		↗
		12	すずき類	211	18	特大主体	→
	底びき網	12	カワハギ	835	70	大主体	↗↗
		13	クロダイ	534	41		↗
		9	マダイ	261	29		↗
		13	いとより類	248	19		↘↘
海部沿岸	小型定置網	8	カタクチイワシ	1,343	168		→
		6	いわし類主体	988	165		→
		4	さば類	348	87		↗
		3	さば類主体	322	107		↘↘
	大型定置網	4	ブリ	12,008	3,002		→
		4	マアジ	1,220	305		↘↘
		4	イシダイ	850	213		↗
		4	クロダイ	559	140		↗↗
		5	カワハギ	278	56	中主体	↗↗
		5	マダイ	202	40		↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘